

2022年3月期 第3四半期 決算概要

2022年2月9日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績などが変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

テルモ株式会社 IR室

E-mail: kouhou_terumo01@terumo.co.jp

ハイライト

■ Q3/Q3累計実績

- 売上収益：過去最高。心臓血管における需要回復が継続、他カンパニーも堅調に推移
- 調整後営業利益：年初に想定していたマイナス影響に加え、インフレや工場における操業度低下があったものの、Q3累計では20%超の増益

■ 21年度業績予想

- 売上収益+120億円の上方修正。利益は変更しない
- Q4はコロナ再拡大の影響により、症例数を始めとした医療需要の一時的な減少を想定。また、インフレ影響や工場操業度の低下によるコスト増を見込むものの、費用コントロールによって相殺し、利益目標の達成を目指す

P&L実績

- 売上収益：四半期及びQ3累計として過去最高。心臓血管、特にTISの需要回復が継続。Q3は体温計や感染対策製品の需要が一巡したものの、ディスプレイ製品の需要はさらなる回復を示し、全体として堅調に推移
- 調整後営業利益：予定していた生産調整、中国入札に加え、インフレ影響、工場における操業度低下によるマイナス影響があったものの、製品ミックス改善と為替のプラス影響により、Q3累計では21%の増益

金額 (億円)	FY20 Q3累計	FY21 Q3累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	4,486	5,235	17%	12%
売上総利益 (%)	2,413 (53.8%)	2,788 (53.3%)	16%	10%
一般管理費 (%)	1,307 (29.1%)	1,463 (27.9%)	12%	8%
研究開発費 (%)	359 (8.0%)	375 (7.2%)	4%	1%
その他収益費用	6	-6	-	-
営業利益 (%)	753 (16.8%)	945 (18.0%)	25%	17%
調整後営業利益 (%)	885 (19.7%)	1,072 (20.5%)	21%	13%
税引前利益 (%)	749 (16.7%)	930 (17.8%)	24%	
当期利益 (%)	586 (13.1%)	717 (13.7%)	22%	

FY20 Q3	FY21 Q3	増減率
1,653	1,788	8%
908 (54.9%)	926 (51.8%)	2%
447 (27.1%)	507 (28.4%)	13%
128 (7.7%)	128 (7.2%)	0%
2	-5	-
334 (20.2%)	286 (16.0%)	-15%
372 (22.5%)	330 (18.5%)	-11%
343 (20.7%)	278 (15.5%)	-19%
268 (16.2%)	217 (12.1%)	-19%

期中平均レート(USD/EUR)

106円/122円

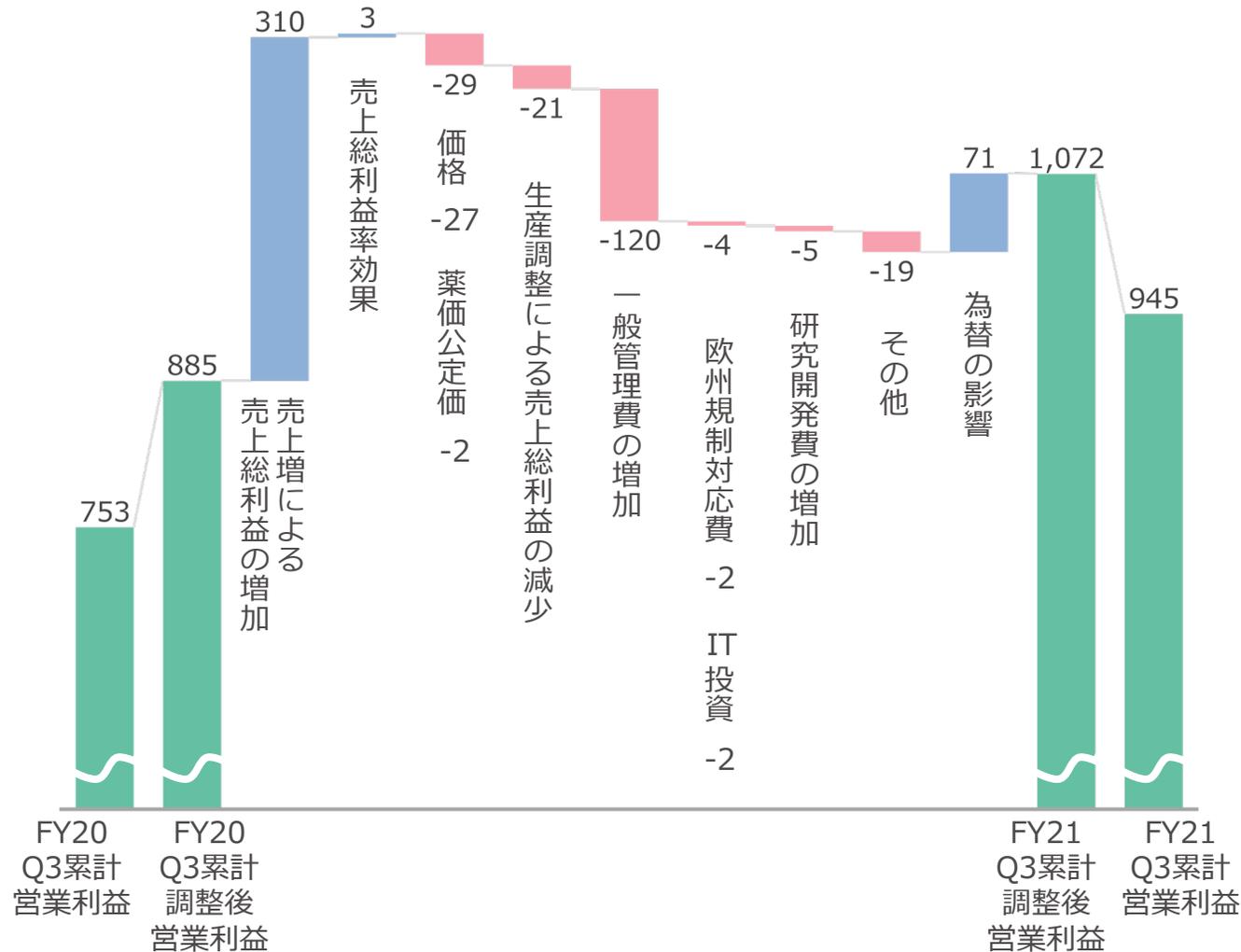
111円/131円

105円/125円

114円/130円

調整後営業利益増減分析 (Q3累計)

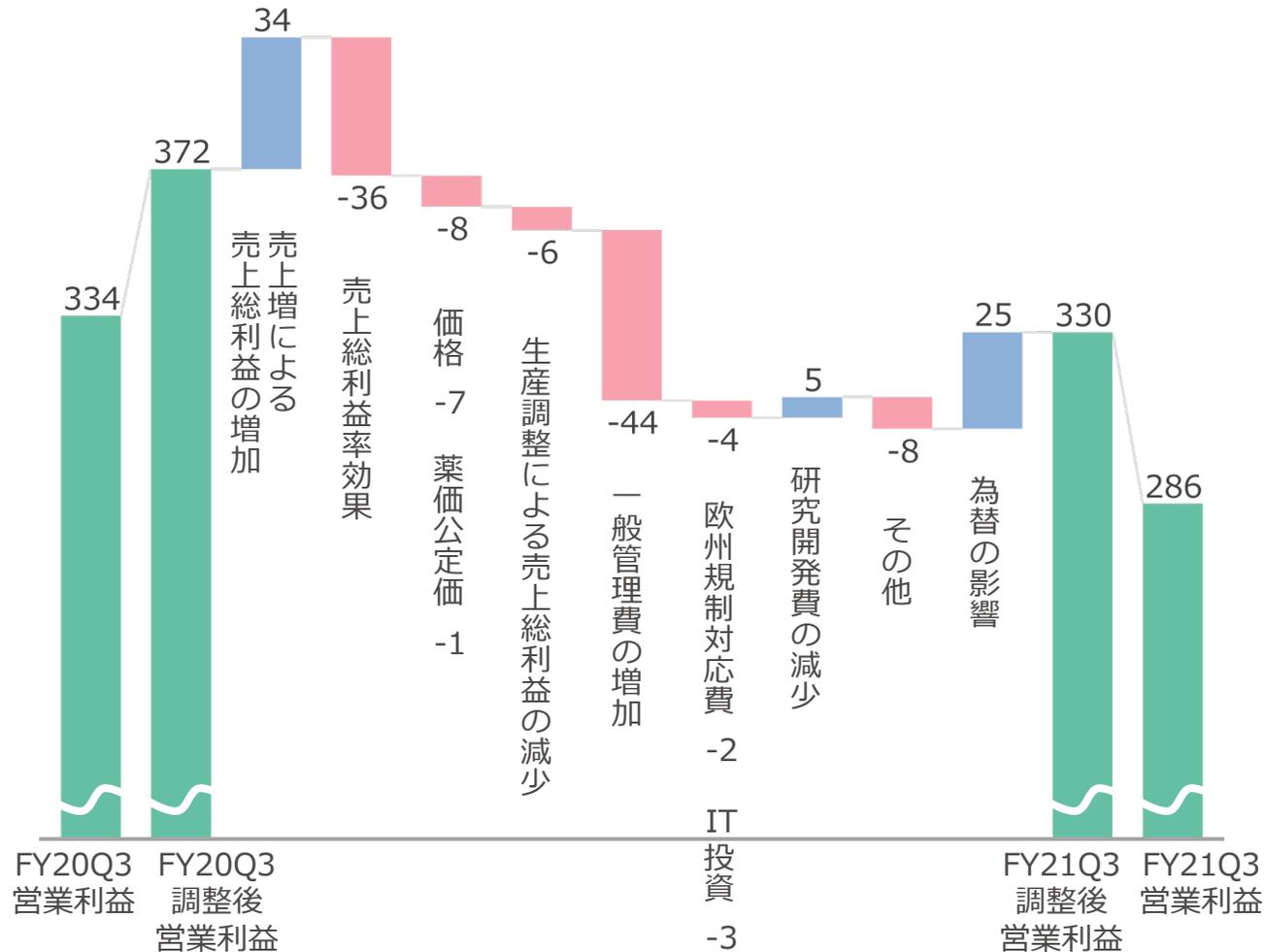
(億円)



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響を受けた20年度Q3累計との比較では、心臓血管を中心に全カンパニーで増収
- 売上総利益率効果：
インフレ（輸送費、原材料費、労務費の高騰）と工場における操業度低下のマイナス影響を、TISを中心とした心臓血管の売上増によるミックス改善効果が上回る
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れた20年度Q3累計との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主に中国元・ユーロがフローに影響。ストックへの影響は軽微

調整後営業利益増減分析 (Q3)

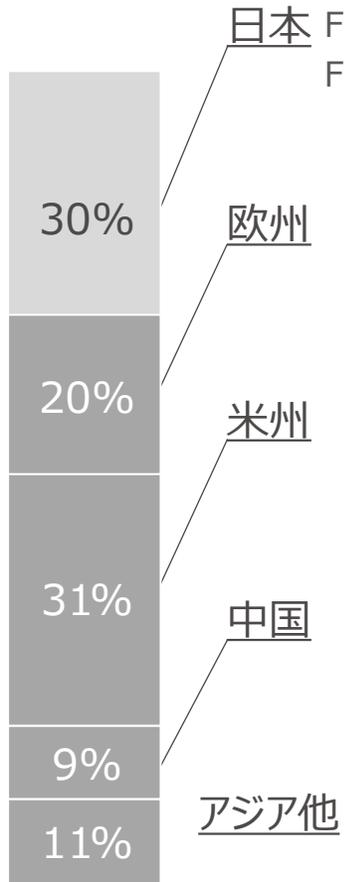
(億円)



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響からの回復が進んだ心臓血管の牽引により増収
- 売上総利益率効果：
インフレ（輸送費、原材料費、労務費の高騰）と工場における操業度低下のマイナス影響を受けて減少
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れた20年度Q3との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主に中国元・ユーロがフローに影響。ストックへの影響は軽微

地域別売上収益

FY21 Q3累計
地域構成比



FY21 Q3累計 地域構成比	売上収益 (億円)		FY21 Q3累計 前年増減率 () 内は為替影響除く	コメント (C&V: 心臓血管、GH: ホスピタル、TBCT: 血液・細胞テクノロジー)	
	Q3累計	Q3			
日本	FY19	1,478	519	5%	GHはアライアンス・医療器が牽引し好調を継続、C&VもTIS・ニューロの回復により伸長を継続。TBCTはわずかに減収。QoQ（21年度Q2とQ3の比較）ではGHがワクチンシリンジや体温計等の需要が一巡して減速も、TBCTは堅調、C&Vは二桁に迫るQoQ伸長
	FY20	1,483	548		
	FY21	1,550	526		
欧州	FY19	887	305	19% (11%)	TIS・血管を中心に全カンパニーで伸長を継続。QoQではC&Vが牽引、GHも堅調、TBCTはQ2に成分採血製品の受注が集中したため減速
	FY20	875	320		
	FY21	1,040	357		
米州	FY19	1,416	489	23% (17%)	TIS・ニューロを中心に全カンパニーで伸長を継続。QoQでも全カンパニーが加速、血液センター向け製品やニューロ、血管が牽引
	FY20	1,311	487		
	FY21	1,612	549		
中国	FY19	370	126	34% (21%)	TISを中心に全カンパニーで伸長を継続。ニューロは20年度上期に代理店の受注タイミングのマイナス影響があり、この影響を除くと中国全体で20%の伸長。QoQではQ2に代理店からの注文が集中したニューロを除くと一桁中盤のQoQ伸長と堅調
	FY20	334	131		
	FY21	446	145		
アジア他	FY19	550	189	22% (15%)	回復が遅れていた分、Q3の3ヶ月では全カンパニーで20%を超える前年伸長。QoQではTBCTとC&Vが二桁QoQ伸長、GHは需要が一巡して減速
	FY20	482	167		
	FY21	586	212		

心臓血管:

北米・欧州を中心とした症例数の回復、全事業での売上伸長が継続。
Q3は利益へのマイナス影響を、売上の好調と為替のプラス影響により低減

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減	
売上 収益	() 内は為替影響除く						TIS : 北米・欧州を中心とした海外の回復が継続。QoQ (21年度Q2とQ3の比較) では、Q2のデルタ株拡大による症例減から顕著な回復。部材の供給問題により受注残を抱えた一部のアクセス製品を除くと8%のQoQ伸長 ニューロ : 北米・欧州を中心とした脳動脈瘤治療の回復が継続。血栓吸引カテーテルも高成長を維持。QoQでは、Q2に代理店からの受注が集中した中国を除くと二桁QoQ伸長 CV : 北米・欧州における顕著な症例回復に加え、病院の投資再開により装置売上も好調。QoQでも北米・欧州で一桁後半のQoQ伸長	+342	
	2,635	2,384	2,944	909	890	1,001			+111
			+23% (+17%)			+12%			
調整後 営業利益	688	560	723	216	240	215	血管 : 欧州・北米を中心に回復基調が継続。QoQではコロナ再拡大からの回復が見られ、欧州・北米で20%台のQoQ伸長と加速 利益 : 中国入札や、在庫水準適正化に向けた生産調整に加え、インフレや工場操業度の低下によるマイナス影響を受けたものの、売上の好調と為替のプラス影響により一部相殺	+51	
			+29% (+20%)			-10%			+55
調整後 営業利益率	FY19	FY20	FY21	FY19	FY20	FY21			
	26%	24%	25%	24%	27%	22%			

ホスピタル:

ポンプや回転品を中心に医療器が牽引。利益に対する複数のマイナス要因が顕在化したものの、累計で通期予想並みの利益率を確保

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減
売上 収益	() 内は為替影響除く						医療器 : アジア・日本を中心とした回転品の需要回復や、 コロナ対応のためのポンプ需要が牽引して二桁伸長。 感染対策製品は需要が一巡。QoQ (21年度Q2 とQ3の比較) では日本でポンプやワクチンシリンジ、 アジアで回転品が牽引し二桁半ばのQoQ伸長	+51
	1,278	1,290	1,387					
			+8% (+6%)	450	472	468	医薬品 : 輸液剤は需要の回復が鈍く、一桁前半の伸長。 疼痛緩和製品と癒着防止材は好調を継続。 QoQでは需要が着実な回復を見せ、全体で一桁 中盤のQoQ伸長	+10
調整後 営業利益	198	205	193	72	88	59	DM・ヘルスケア : 体温計の需要が一巡するも、血圧計がアジア・日本 で好調を継続。QoQではDMが一桁中盤のQoQ 伸長と堅調も、ヘルスケア製品の需要が一巡	+6
			-6% (-5%)				アライアンス : CDMOビジネスが牽引し、10%台半ばの伸長	+30
	FY19	FY20	FY21	FY19	FY20	FY21	利益: インフレに加え、体温計の需要一巡による製品ミックスの平常化や、 中国での製造原価に対する為替のマイナス影響を受けたものの、 累計では通期予想並みの利益率を確保	
調整後 営業利益率	16%	16%	14%	16%	19%	13%		

血液・細胞テクノロジー:

全血採血を中心に、需要回復が継続。Q3は利益へのマイナス影響が高んだものの、累計では利益率の改善を継続

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減
	() 内は為替影響除く							
売上 収益	787	810	902 +11% (+6%)	270	291	319 +10%	血液センター : 全血採血が北米・欧州を中心に回復継続。成分採血製品もアジア・中国で好調、コロナ回復期血漿の需要減速の影響を押し返す。QoQ (21年度Q2とQ3の比較) では米州・アジアにおける全血採血製品の好調により一桁中盤のQoQ伸長	+61
調整後 営業利益	104	144	172 +19% (+8%)	37	56	54 -2%	アフレシス治療 : 症例数の伸長に応じて病院が投資を進め、北米・欧州で二桁伸長を継続。QoQでも北米・欧州が牽引し二桁のQoQ伸長	+24
							細胞処理 : 20年度上期にはコロナ影響による導入遅延が見られたが、北米を中心に下期の回復から成長軌道へ	+7
調整後 営業利益率	13%	18%	19%	14%	19%	17%	利益 : 全血採血の需要回復による製品ミックスの平常化、新規事業の準備費用、インフレ、工場における操業度低下の影響を受けて減少したものの、売上好調や為替のプラス影響により一部相殺。累計では利益率の改善を継続	

業績予想の上方修正

(億円)

	従来 予想	今回 修正予想	修正額
売上収益	6,850	6,970	+120
営業利益 (%)	1,200 (17.5%)	1,200 (17.2%)	±0
調整後営業利益 (%)	1,370 (20.0%)	1,370 (19.7%)	±0
当期利益	920	920	±0

為替レート(USD/EUR)

108円/129円

112円/130円

■ 為替影響を含むQ3までの上振れを反映した修正

■ Q4はコロナ再拡大の影響により、症例数を始めとした医療需要の一時的な減少を想定。また、インフレ影響や工場操業度の低下によるコスト増を見込むものの、費用コントロールによって相殺し、利益目標の達成を目指す

主なトピックス

全社

- 5カ年成長戦略「GS26」を発表
- 「テルモグループ サステナビリティ基本方針」の制定とサステナビリティ重点活動テーマの改定



薬剤溶出型冠動脈ステント
「Ultimaster Nagomi」

心臓血管

- 薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster Nagomi」を日本で発売
- ECMOの研究開発と実用化および普及により「日本医療研究開発大賞 内閣総理大臣賞」を受賞
- 胸部ステントグラフト「RelayPro」の日本における製造販売承認を取得



胸部ステントグラフト
「RelayPro」

ホスピタル

- 小型シリンジポンプ「TE-362」を日本で発売
- 液体包帯の「ジェルクリア口腔用液」を日本で発売
- 仏Diabeloop社と糖尿病領域で包括的な提携契約を締結



小型シリンジポンプ
「TE-362」



液体包帯
「ジェルクリア口腔用液」

血液・細胞 テクノロジー

- 米Immunicom社とがん免疫療法に関する業務提携を欧州で開始



遠心型血液成分分離装置
「Spectra Optia」

参考資料

21年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	次期薬剤溶出型ステント	日	済み
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧	
	末梢血管塞栓用コイル	日	済み
	末梢血管塞栓用プラグ	米	済み
脳	血流改変ステント	欧米	欧：済み
	バルーン付きガイドカテーテル	欧米	
	コイルアシストステント	欧米	欧：済み
血管	胸部ステントグラフト	米	済み
	オープンステントグラフト	米	
	腹部ステントグラフト	日	済み

領域	製品	地域	ローンチ
医療器	次期輸液ポンプ	日	
	次期小型シリンジポンプ	日	済み
	FNシリンジ（16mm針）	日	済み
医薬品	フルマゼニル静注	日	済み
	次期無菌接合装置	日	済み
	ジェルクレア	日	済み
DM・ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日	済み
	パッチ式インスリンポンプ	欧	済み
	100周年記念体温計	日	済み
	非接触データ通信体温計	日	済み
血液・細胞テクノロジー	血液自動製剤システム	グローバル	
	付加価値サービス	グローバル	済み

売上明細（地域別・事業別）

2021年度 第3四半期 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for the Third Quarter of FY2021

(百万円/ millions of yen)

		Q3 YTD FY2020							Q3 YTD FY2021										構成比 % to total *b				
		日本 JPN	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others *a	合計 WW	日本 JPN	%YoY	海外 Overseas	%YoY	欧州 Europe	%YoY	米州 Americas	%YoY	中国 China	%YoY		アジア他 Asia and others *a	%YoY	合計 WW	%YoY
心臓血管 カンパニー	TIS	23,015	138,760	38,686	61,502	22,055	16,517	161,776	24,055	4.5%	171,970	23.9%	47,159	21.9%	77,369	25.8%	27,047	22.6%	20,394	23.5%	196,025	21.2%	37.4%
	ニューロバスキュラー	3,330	27,766	10,100	12,141	2,612	2,911	31,096	4,084	22.7%	38,143	37.4%	12,362	22.4%	16,266	34.0%	6,397	144.9%	3,117	7.1%	42,228	35.8%	8.1%
	カーディオバスキュラー	8,344	22,243	3,793	13,911	1,146	3,392	30,588	8,249	-1.1%	27,473	23.5%	4,809	26.8%	17,191	23.6%	1,551	35.4%	3,919	15.5%	35,722	16.8%	6.8%
	血管	1,918	13,026	7,301	4,052	960	711	14,944	2,088	8.9%	18,336	40.8%	10,154	39.1%	6,075	49.9%	1,225	27.6%	880	23.8%	20,425	36.7%	3.9%
Cardiac and Vascular Company		36,608	201,796	59,881	91,608	26,773	23,532	238,405	38,478	5.1%	255,924	26.8%	74,487	24.4%	116,903	27.6%	36,221	35.3%	28,312	20.3%	294,403	23.5%	56.2%
ホスピタル カンパニー	医療器	38,741	17,511	1,969	4,840	923	9,777	56,253	40,503	4.5%	20,810	18.8%	2,076	5.4%	6,006	24.1%	1,008	9.2%	11,720	19.9%	61,314	9.0%	11.7%
	医薬品	34,397	-	-	-	-	-	34,397	35,429	3.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35,429	3.0%	6.8%
	DM・ヘルスケア	17,624	2,126	598	7	701	818	19,751	17,437	-1.1%	2,906	36.7%	619	3.5%	25	246.0%	852	21.6%	1,408	72.0%	20,343	3.0%	3.9%
	ホスピタルシステム小計	90,764	19,637	2,568	4,847	1,625	10,596	110,402	93,370	2.9%	23,717	20.8%	2,695	4.9%	6,031	24.4%	1,861	14.5%	13,128	23.9%	117,087	6.1%	22.4%
	アライアンス	11,830	6,791	4,693	1,561	100	435	18,621	14,294	20.8%	7,352	8.3%	4,987	6.2%	1,511	-3.2%	144	44.2%	708	62.6%	21,646	16.2%	4.1%
General Hospital Company		102,594	26,429	7,262	6,408	1,725	11,032	129,023	107,664	4.9%	31,069	17.6%	7,682	5.8%	7,543	17.7%	2,005	16.2%	13,837	25.4%	138,733	7.5%	26.5%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	8,480	51,782	16,012	20,058	4,296	11,415	60,262	8,307	-2.0%	58,075	12.2%	16,829	5.1%	21,982	9.6%	5,244	22.1%	14,018	22.8%	66,382	10.2%	12.7%
	アフエレス治療他	355	14,738	3,793	8,393	507	2,044	15,094	300	-15.6%	17,161	16.4%	4,363	15.0%	9,645	14.9%	904	78.3%	2,248	10.0%	17,462	15.7%	3.3%
	細胞処理	118	5,532	598	4,663	92	178	5,650	92	-21.7%	6,216	12.4%	633	6.0%	5,145	10.3%	229	149.4%	208	16.5%	6,309	11.7%	1.2%
Blood and Cell Technologies Company		8,954	72,053	20,403	33,115	4,896	13,638	81,007	8,700	-2.8%	81,453	13.0%	21,827	7.0%	36,772	11.0%	6,378	30.3%	16,475	20.8%	90,154	11.3%	17.2%
その他	Others	191	-	-	-	-	-	191	190	-0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-0.4%	0.0%
合計	Total	148,349	300,279	87,547	131,132	33,395	48,203	448,628	155,034	4.5%	368,447	22.7%	103,997	18.8%	161,219	22.9%	44,605	33.6%	58,625	21.6%	523,482	16.7%	100.0%
売上比率	% to Total	33.1%	66.9%	19.5%	29.2%	7.4%	10.7%	100.0%	29.6%		70.4%		19.9%	30.8%		8.5%		11.2%		100.0%			

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD1=¥106.11)
(EUR1=¥122.44)

(USD1=¥111.14)
(EUR1=¥130.60)

*a 「中国」の売上を開示したことに伴い、「アジア他」から「中国」の売上を除いています。

*a Sales in China is not included in "Asia and others" from this reportable segment.

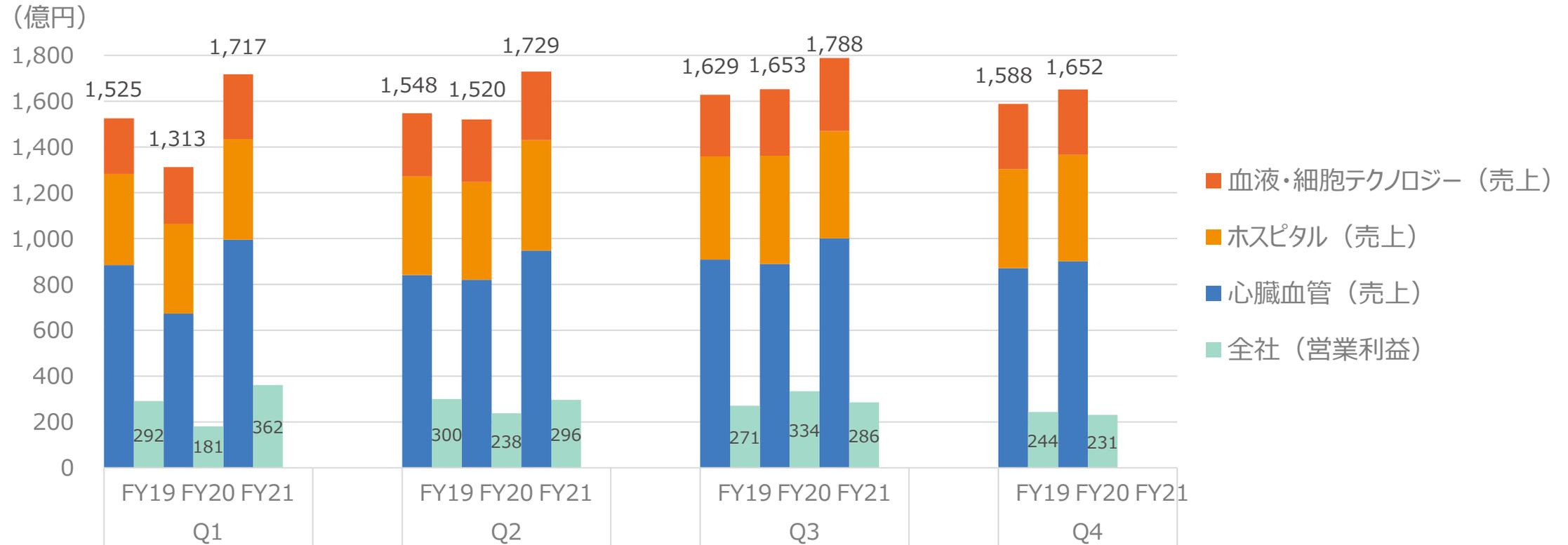
*b 構成比は、小数点第2位を四捨五入して表示しており、合計が100%にならない場合があります。

*b The composition ratio is rounded at the second decimal point, and the total may not be 100%.

売上収益・営業利益の四半期推移

売上収益： Q3実績は20年度比8%伸長、19年度比は心臓血管が10%伸長と牽引し、全体でも10%伸長。
為替（ユーロ等）もプラスの影響

営業利益： Q3実績は中国入札や生産調整等のマイナス影響に加え、インフレや工場における操業度低下の影響を受けたものの、売上好調と為替のプラス影響により一部相殺



P&L (四半期推移)

(億円)

	FY20 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
売上収益	1,653	1,652	1,717	1,729	1,788
売上総利益	908 (54.9%)	854 (51.7%)	943 (54.9%)	920 (53.2%)	926 (51.8%)
一般管理費	447 (27.1%)	488 (29.5%)	465 (27.1%)	490 (28.4%)	507 (28.4%)
研究開発費	128 (7.7%)	132 (8.0%)	117 (6.8%)	130 (7.5%)	128 (7.2%)
その他収益費用	2	-2	1	-3	-5
営業利益	334 (20.2%)	231 (14.0%)	362 (21.1%)	296 (17.1%)	286 (16.0%)
調整後営業利益	372 (22.5%)	274 (16.6%)	402 (23.4%)	339 (19.6%)	330 (18.5%)

四半期	USD	105円	106円	110円	110円	114円
平均レート	EUR	125円	128円	132円	130円	130円

販管費（四半期推移）

(億円)

		FY20 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
人件費		231	240	249	249	255
販促費		35	43	30	40	44
物流費		38	37	38	39	39
償却費		47	49	48	50	51
その他		97	119	99	112	118
一般管理費計 (%)		447 (27.1%)	488 (29.5%)	465 (27.1%)	490 (28.4%)	507 (28.4%)
研究開発費 (%)		128 (7.7%)	132 (8.0%)	117 (6.8%)	130 (7.5%)	128 (7.2%)
販管費合計 (%)		575 (34.8%)	620 (37.5%)	581 (33.9%)	621 (35.9%)	635 (35.5%)
四半期 平均レート	USD	105円	106円	110円	110円	114円
	EUR	125円	128円	132円	130円	130円

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY20 Q3累計	FY21 Q3累計	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	687	753	66	10%	5%
販促費	86	114	29	34%	30%
物流費	106	117	10	9%	6%
償却費	142	149	6	5%	2%
その他	285	330	45	16%	12%
一般管理費計	1,307	1,463	156	12%	8%
(%)	(29.1%)	(27.9%)			

研究開発費	359	375	16	4%	1%
(%)	(8.0%)	(7.2%)			

販管費合計	1,665	1,837	172	10%	6%
(%)	(37.1%)	(35.1%)			

FY20 Q3	FY21 Q3	増減	増減率
231	255	24	10%
35	44	10	28%
38	39	2	4%
47	51	4	8%
97	118	21	22%
447	507	60	13%
(27.1%)	(28.4%)		

128	128	0	0%
(7.7%)	(7.2%)		

575	635	60	10%
(34.8%)	(35.5%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY20 Q3累計	FY21 Q3累計	FY20 Q3	FY21 Q3
営業利益	753	945	334	286
調整① 買収無形資産の償却費	108	118	37	39
調整② 一時的な損益	24	9	1	5
調整後営業利益	885	1,072	372	330

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY21 Q3累計	FY21 Q3
事業再編費用	6	3
その他	2	2

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

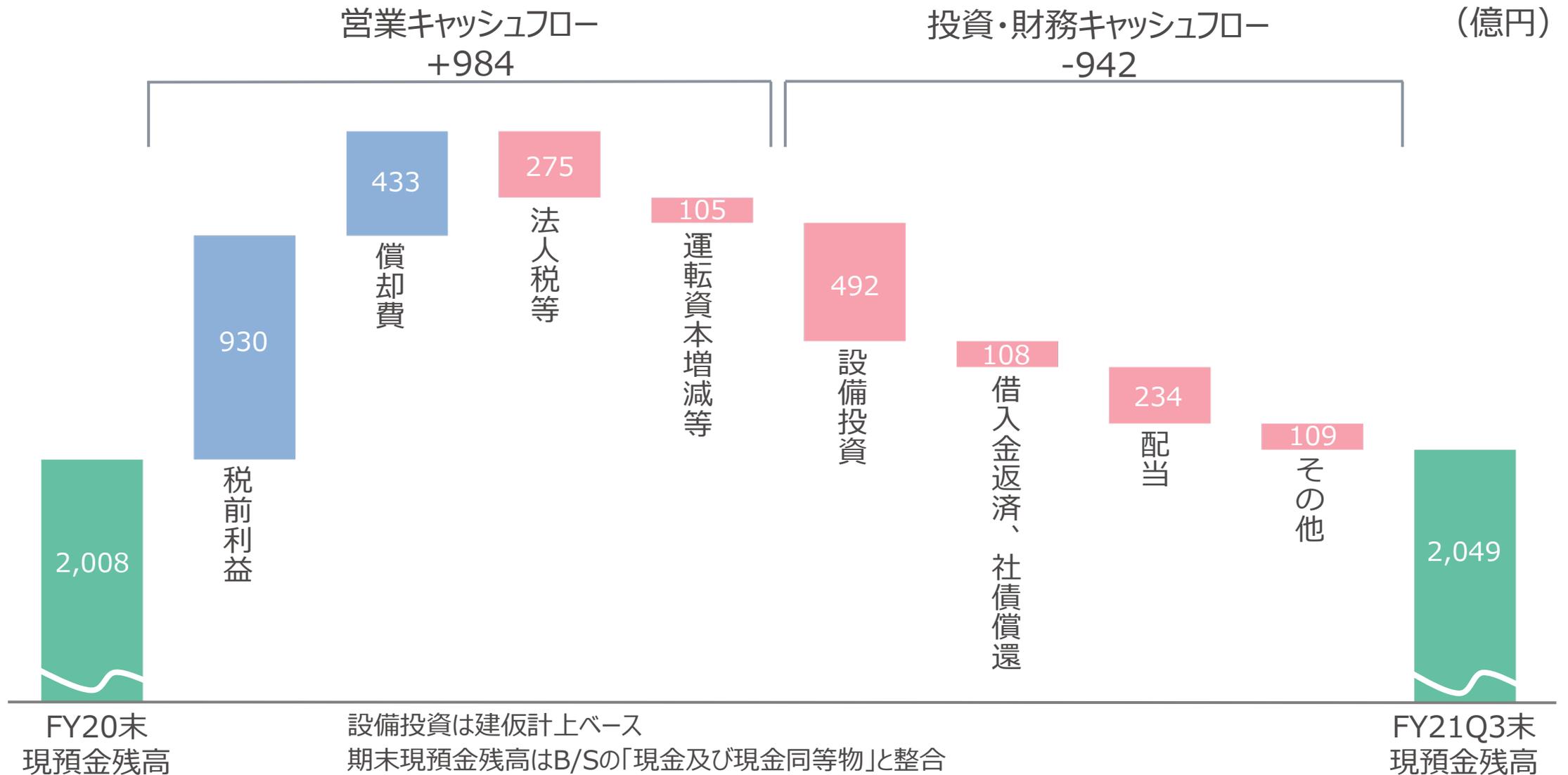
	FY18	FY19	FY20	FY21 Q3累計	FY21予想
設備投資	608	895	772	492	770
償却費	440	477	484	390	530
買収無形償却費	146	157	150	108	155
それ以外	294	320	334	282	375

設備投資は建設仮勘定計上ベース、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

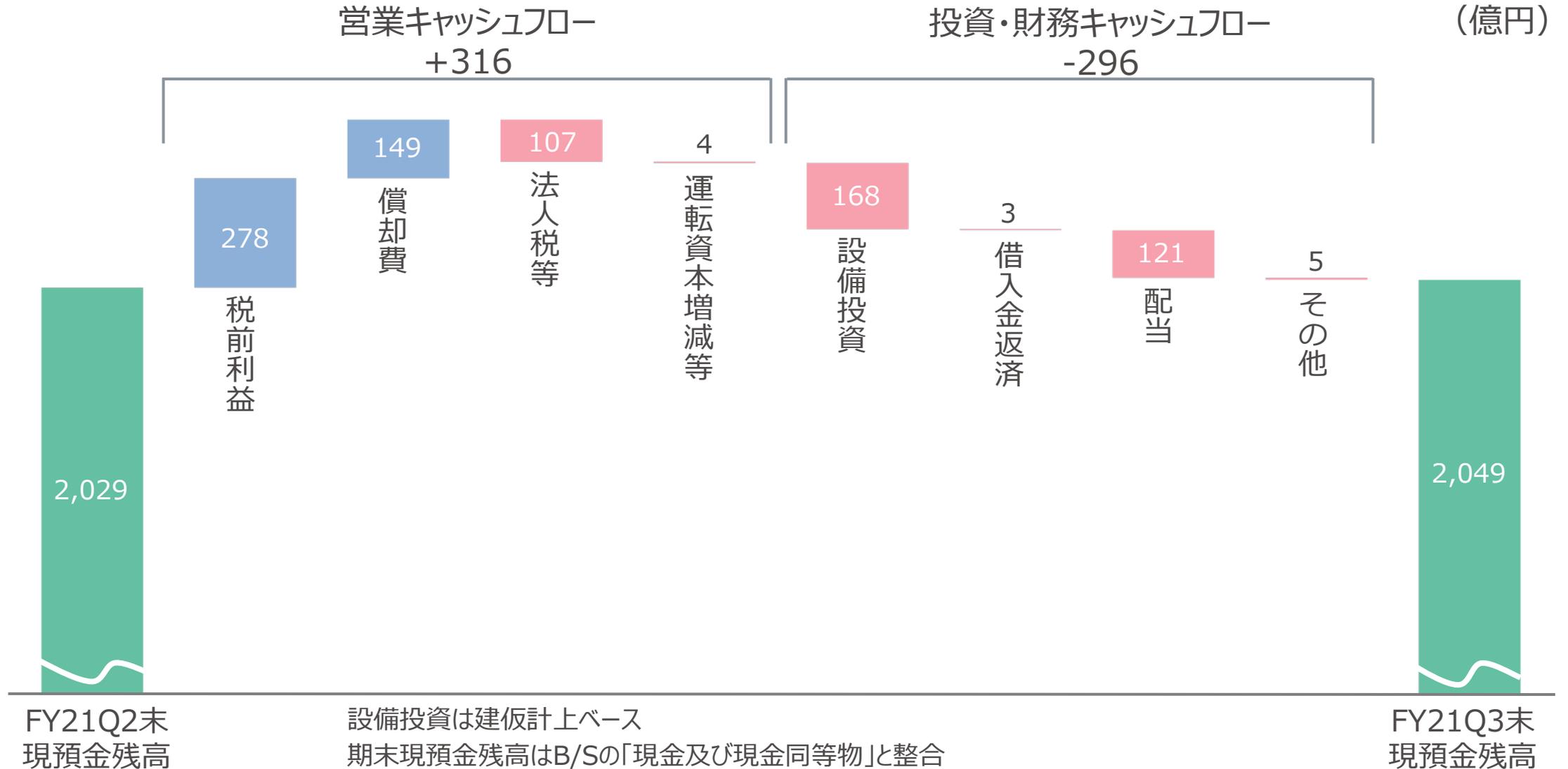
■ 21年度Q3累計実績（492億円）：主にTIS、ニューロ、アライアンス、血液・細胞テクノロジー等の増産設備、生産スペース、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

	FY18	FY19	FY20	FY21 Q3累計	FY21予想
研究開発費	477	506	491	375	515

キャッシュフロー（Q3累計）



キャッシュフロー (Q3)



為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額

(億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	17	8	35
調整後営業利益	0	5	15

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	中国元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	23	36



Stride Ahead
100th